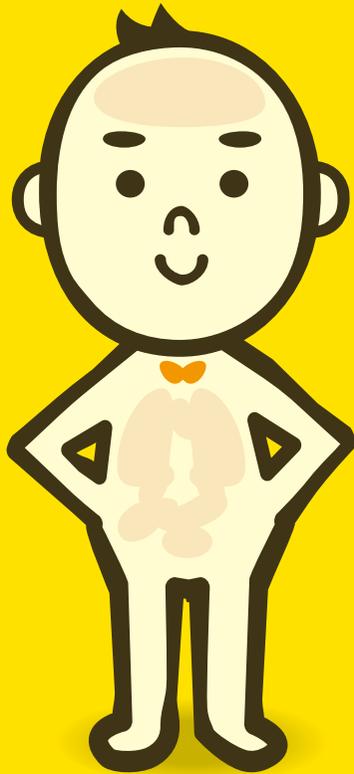




甲状腺の検査

血液、尿などの臨床検査



臨床検査振興協議会
Japanese Promotion Council for Laboratory Testing

甲状腺とは？



ここが甲状腺

どこにあるの？

のどぼとけの下に、ちょうど蝶が羽を広げて気管を抱くような形でくっついてます。大きさは、ほぼ親指2つを並べたくらいです。正常の甲状腺は柔らかいので、外から触ってもわかりにくいです。

働きは？

主に、甲状腺ホルモンを分泌しています。甲状腺ホルモンは体の発育に欠かすことができません。また全身の新陳代謝を活発にする働きがあります。

甲状腺ホルモンに異常があると、こんな症状がでてきます。

甲状腺ホルモンの増加

- 汗が多い
- 暑さに弱い
- 手が震える
- 疲れやすい
- 動悸がする
- よく食べるのにやせる

甲状腺ホルモンの低下

- 寒がり
- 髪の毛がぬける
- 顔や手がむくむ
- 便秘・生理が多い
- 皮膚がかさかさする
- あまり食べないのに太る



甲状腺の機能をみるには、次の2つのホルモンを検査します。

甲状腺刺激ホルモン (TSH)

遊離サイロキシン (FT4)

甲状腺ホルモンが増加したり、低下したりする原因はいろいろあります。このため、2つのホルモンを同時に測定して、総合的に判断します。

もし、甲状腺のホルモンや大きさに異常があったら以下の検査を行います。

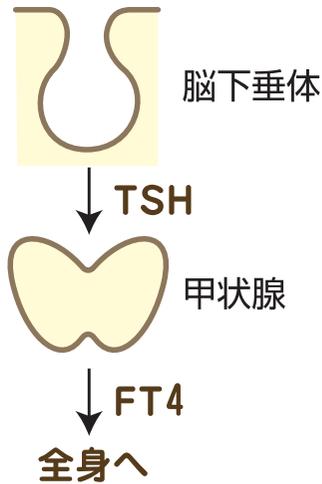
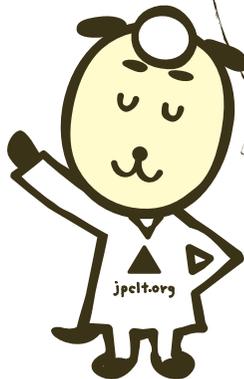
血液中にある甲状腺に対する抗体を測定します

抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体

抗サイログロブリン抗体

抗TSHレセプター抗体

これらの抗体により甲状腺細胞がこわれて徐々にホルモンがつかれなくなったり、甲状腺を刺激して甲状腺ホルモンを必要以上につくったりします。



血液検査のほかには

超音波（エコー）検査、ラジオアイソトープを使った検査などがあります。また、針で甲状腺を穿刺して、細胞をとって調べる検査（バイオプシー）もあります。



超音波（エコー）検査



資料提供:天理よろづ相談所病院 臨床病理部
監修:臨床検査振興協議会 広報委員会